

第2章 定期巡回・随時対応サービスの現状

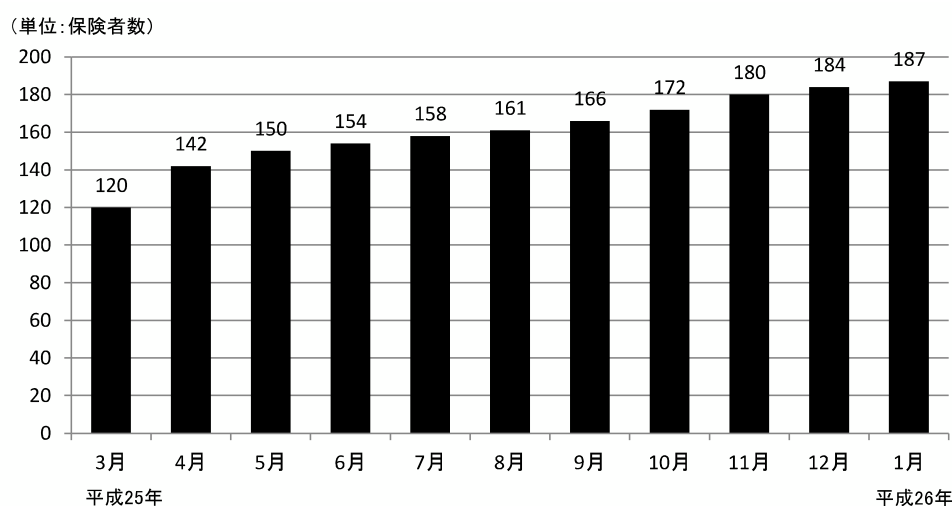
1. 定期巡回・随時対応サービス提供状況に関する現状

(1) 定期巡回・随時対応サービス提供状況の推移

定期巡回・随時対応サービスは、平成26年1月末現在、187保険者で411事業所が指定を受け、利用者数は5,967人である(厚生労働省老健局振興課調べ)。

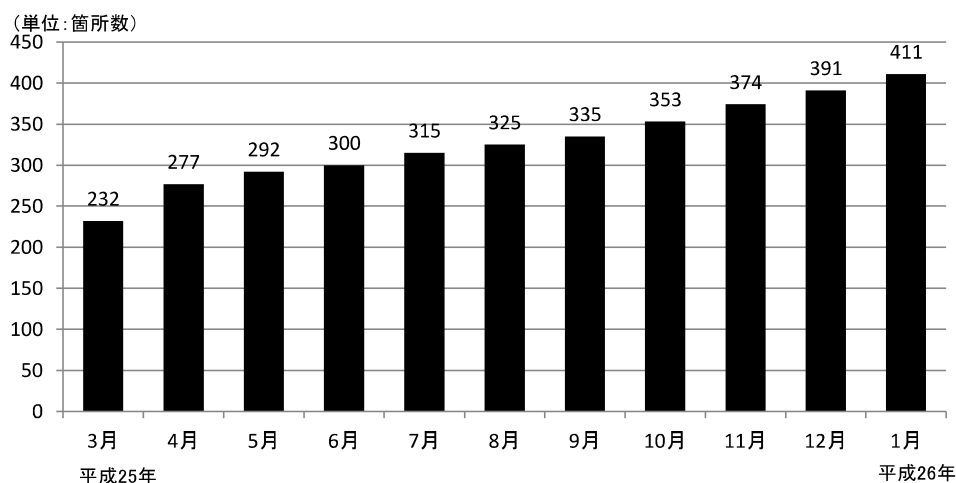
経年的に推移を見てみると、サービスは徐々に普及していると考えられるものの、第5期介護保険事業計画において、平成25年度末で283保険者の整備を計画しているが、65.0%(187/283)の実施にとどまっており、さらなる普及への取り組みが必要と考えられる。

図表1 定期巡回・随時対応サービス事業所の指定を行っている保険者数の推移



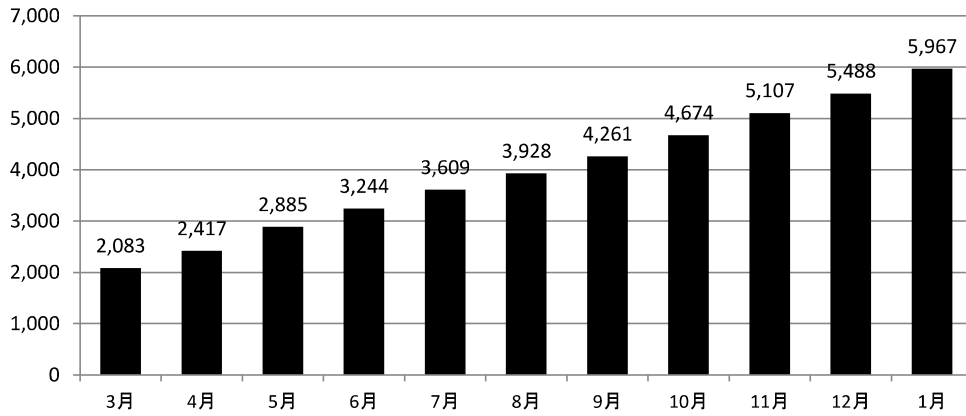
(出典)厚生労働省老健局振興課調べ

図表2 定期巡回・随時対応サービス事業所数の推移



(出典)厚生労働省老健局振興課調べ

図表3 定期巡回・随時対応サービス利用者数の推移

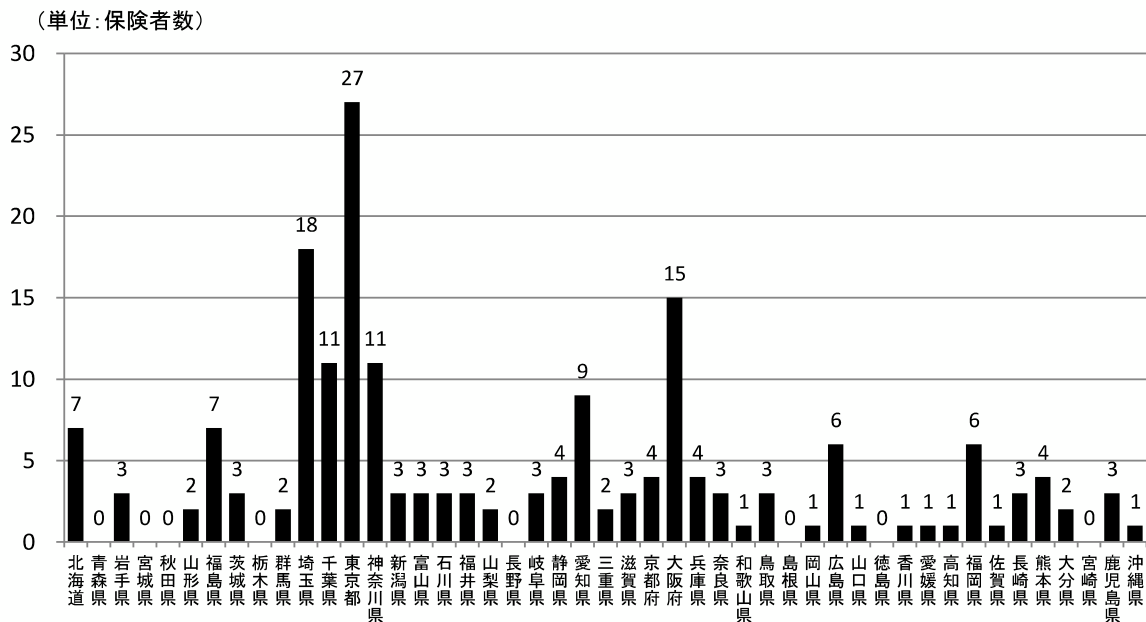


(出典)厚生労働省老健局振興課調べ

(2) 都道府県別 定期巡回・随時対応サービスの指定を行っている保険者数

定期巡回・随時対応サービスの指定を行っている保険者数は、地域差が大きく、まだ1か所も事業所がない都道府県が8県(青森県・宮城県・秋田県・栃木県・長野県・島根県・徳島県・宮崎県)ある。こうした地域では、今後特に普及に向けた取り組みが必要であると考えられる。

図表4 都道府県別 定期巡回・随時対応サービスの指定を行っている保険者数
(平成26年1月現在)



(出典)厚生労働省老健局振興課調べ

図表5 定期巡回・随時対応サービスの事業実施自治体一覧
(平成26年1月現在)

都道府県名	保険者名	事業所数	都道府県名	保険者名	事業所数	都道府県名	保険者名	事業所数	都道府県名	保険者名	事業所数
北海道	札幌市	25	千葉県	佐倉市	1	富山県	富山市	3	大阪府	茨木市	2
	函館市	6		富津市	(1)		射水市	1		大東市	(1)
	小樽市	1		市川市	2	新川町(地区)後援会	1	吹田市		1	
	帯広市	1		流山市	1(1)	金沢市	2	豊中市		2	
	夕張市	1		八千代市	1	加賀市	1	神戸市	9		
	千歳市	1		浦安市	1	津幡町	1	たつの市	1		
岩手県	幕別町	(1)		千代田区	2	福井市	3	尼崎市	1		
	盛岡市	1		板橋区	1	坂井地区広域連合	2	明石市	1		
山形県	北上市	1		中央区	2	鶴江市	1	奈良県	奈良市	4	
	奥州市	1		港区	4	甲府市	1	大和郡山市	1		
福島県	山形市	1	新宿区	2	笛吹市	1	三郷町	1			
	鶴岡市	1	墨田区	2	岐阜市	4	和歌山県	和歌山市	1		
	福島市	4	江東区	3	大垣市	2	米子市	5			
	伊達市	1	品川区	1	もとす広域連合	1	鳥取市	1			
	会津若松市	1	世田谷区	3	静岡市	4	境港市	1			
	南相馬市	(1)	中野区	1	浜松市	5	岡山市	5			
茨城県	浪江町	(1)	杉並区	4	伊東市	1	広島県	広島市	4		
	大熊町	(2)	豊島区	3	富士宮市	1	福山市	4			
	飯館村	(1)	練馬区	6	名古屋市長	10	尾道市	(1)			
	土浦市	1	足立区	5	北名古屋市長	1	三原市	1			
群馬県	鹿嶋市	1	江戸川区	2	岡崎市	2	三次市	1			
	群馬市	1	目黒区	5	稲沢市	1	北広島町	1			
埼玉県	さいたま市	3(1)	荒川区	1	高浜市	1	山口県	下関市	2		
	和光市	3	台東区	1(1)	豊橋市	2	香川県	坂出市	2		
	朝霞市	(2)	武蔵野市	1	西尾市	2	愛媛県	新居浜市	2		
	志木市	1	福城市	1	安城市	(1)	高知県	高知市	1		
	久喜市	1	小金井市	1	豊田市	1	福岡県	北九州市	1		
	富代町	(1)	調布市	1	津市	1	福岡市	福岡市	4		
	白岡市	(1)	八王子市	3	栗東市	1	久留米市	4			
	幸手市	(1)	立川市	2	草津市	(1)	小郡市	1			
	杉戸町	(1)	三鷹市	1	守山市	2	福岡市の南地区広域連合	1(1)			
	上尾市	1	東久留米市	(1)	京都市	3	糸島市	1			
	大田区(城市)町組合	2	川崎市	8	福知山市	3	佐賀県	唐津市	1		
	春日部市	2	横浜市長	27	向日市	1	長崎県	長崎市	3		
	行田市	(1)	小田原市	1	長岡京市長	1	大村市	1			
	新座市	(1)	平塚市	1	大阪市	8	熊本市	熊本市	5		
千葉県	八潮市	1	伊勢原市	1(1)	堺市	3	山鹿市	1			
	本庄市	(1)	鎌倉市	1	東大阪市	4	人吉市	1			
	鴻巣市	1	秦野市	(1)	藤井寺市	1	水原市	1			
	狭山市	1	厚木市	1	八尾市	1(1)	中津市	1			
	千葉市	2	横須賀市長	1	富田林市長	1(1)	豊後大野市	1			
	船橋市長	4	総瀬市	1	松原市長	1	鹿児島市	10			
	君津市長	1	箱根町	1	河内長野市長	(2)	指宿市長	1			
	柏市長	3	新潟市長	1	岸和田市長	2	鹿屋市長	1			
	習志野市長	(1)	上越市長	4	交野市長	(1)	うるま市長	1			
			長岡市長	2	くすのき広域連合	2					

注1) 他の市町村(保険者)に所在する事業所を指定している場合は(1)としている。
注2) ※は公募指定を行っている保険者。

(出典)厚生労働省老健局振興課調べ

2. 定期巡回・随時対応サービスの事業運営の状況

本事業で調査を実施した先進的な取り組みを実施している 5 事業所のデータを中心に、定期巡回・随時対応サービスの事業運営の直近の現状をまとめると、以下の通りである。

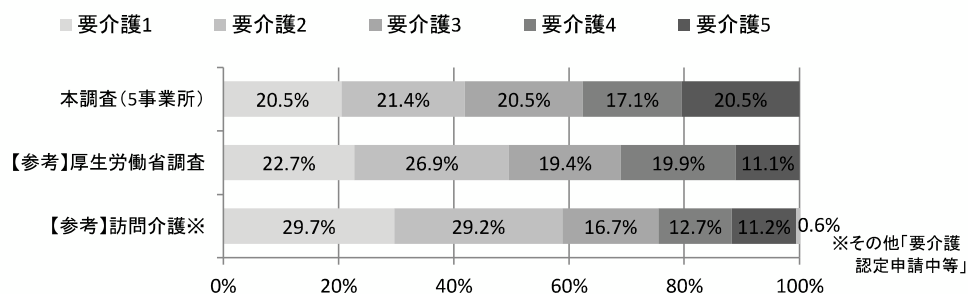
なお、参考として、平成 24 年 10 月時点の 104 事業所の調査データ(厚生労働省老健局振興課調べ)との比較が可能な項目については、そのデータを併せて掲載している。

(1) 利用者の状況

①要介護度別の利用者数

本調査における要介護度別の利用者数は、要介護 2 が最も多く 21.4%、次いで要介護 1・要介護 3・要介護 5 が 20.5%、要介護 4 が 17.1%であった。参考として、厚生労働省調査では要介護 2 が 26.8%と最も多く、要介護 5 は 11.1%にとどまっており、本調査で対象とした事業所のほうが、要介護度が高い利用者の割合がやや多い傾向にあった。また、訪問介護の要介護度別の利用者数を見ると、定期巡回・随時対応サービス事業所のほうが、要介護度が高い利用者の割合が多い傾向にあった。

図表6 要介護度別 利用者数



※出典：厚生労働省「平成 24 年介護サービス施設・事業所調査」

本調査について、要介護度別の利用者数を事業所別に見た場合、要介護 1 では 4.8%～29.4%の幅がある一方、要介護 5 では 4.5%～28.1%まで幅があった。要介護 1～2 の利用者と、要介護 3～5 の利用者で大きく分けた場合、「定期巡回ゆい港北」「ジャパンケア世田谷」「天正寺サポートセンター」では、要介護 3～5 の利用者が比較的多い傾向にある一方、「潤生園ホームヘルプサービス」「24 時間訪問介護事業所つばさ」では、要介護 1～2 と要介護 3～5 の利用者をほぼ同程度受け入れている傾向にあった。

ここから、前段 3 事業所では、比較的要介護度の高い利用者中心の事業運営を行っている一方で、後段 2 事業所では、特定の要介護度の利用者の特化しない事業運営を行っていることが考えられた。ヒアリング調査の結果を踏まえれば、前段 3 事業所では、病院退院時の依頼が多いことや、診療所との連携によるサービス提供が多いことなどが関連しているものと考えられた。

図表7 事業所別・要介護度別 利用者数

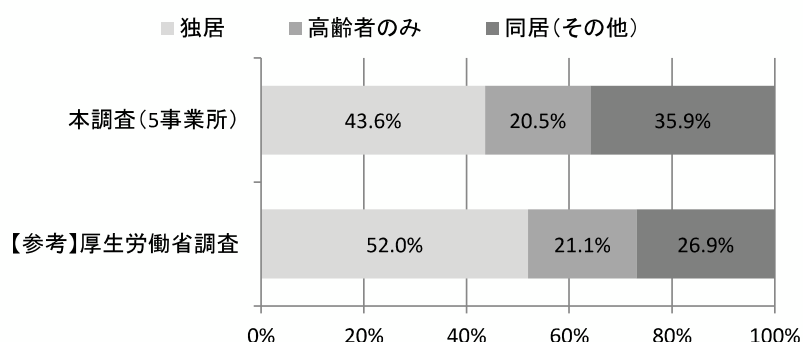
	要介護度											
	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
定期巡回ゆい港北	7人	21.9%	5人	15.6%	7人	21.9%	4人	12.5%	9人	28.1%	32人	100.0%
ジャパンケア世田谷	5人	20.0%	3人	12.0%	7人	28.0%	5人	20.0%	5人	20.0%	25人	100.0%
天正寺サポートセンター	1人	4.8%	7人	33.3%	4人	19.0%	4人	19.0%	5人	23.8%	21人	100.0%
潤生園ホームヘルプサービス	6人	27.3%	7人	31.8%	5人	22.7%	3人	13.6%	1人	4.5%	22人	100.0%
24時間訪問介護事業所つばさ	5人	29.4%	3人	17.6%	1人	5.9%	4人	23.5%	4人	23.5%	17人	100.0%
合計	24人	20.5%	25人	21.4%	24人	20.5%	20人	17.1%	24人	20.5%	117人	100.0%

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

②世帯構成別の利用者数

本調査における世帯構成別の利用者数は、「独居」が 43.6%と最も多く、次いで「同居(その他)」が 35.9%、「高齢者のみ」が 20.5%であった。参考として、厚生労働省調査では、「独居」が 52.0%、「同居(その他)」が 26.9%であり、本調査で対象とした事業所のほうが、「独居」が少なく「同居(その他)」が多い傾向にあった。

図表8 世帯構成別の利用者数



本調査について、世帯構成別の利用者数を事業所別に見た場合、「独居」で 27.3%～64.0%、「同居(その他)」で 25.0%～59.1%と幅があった。「独居」「高齢者のみ」と「同居(その他)」で大きく分けた場合、「定期巡回ゆい港北」「ジャパンケア世田谷」「天正寺サポートセンター」では、「独居」「高齢者のみ」が多い傾向にある一方、「潤生園ホームヘルプサービス」「24 時間訪問介護事業所つばさ」では、「独居」「高齢者のみ」と「同居(その他)」がほぼ同程度の割合であった。

ただし、これらは利用者の要介護度よりも、「独居」「高齢者のみ」の世帯が多いかどうかや、施設志向が強いかどうか等の地域性によるものであることが考えられる。施設志向の強い地域では、本人の意向ではなく同居家族の意向により施設入所するケースが多く、要介護高齢者の同居率が低くなる傾向がある。

図表9 事業所別・世帯構成別の利用者数

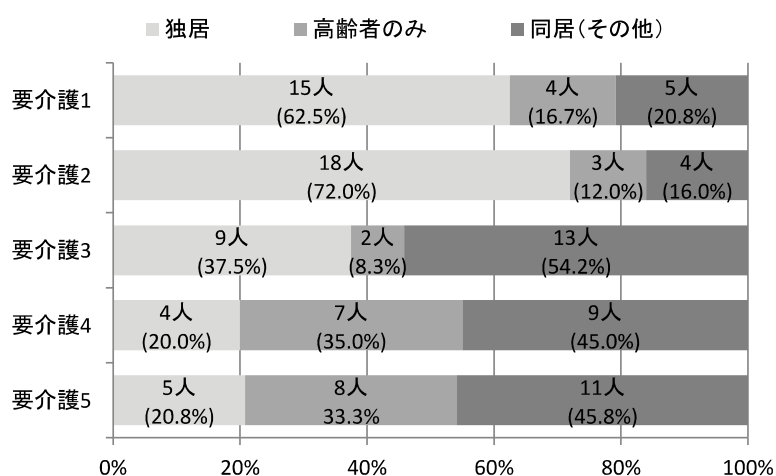
	独居		高齢者のみ		同居(その他)		合計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
定期巡回ゆい港北	12人	37.5%	12人	37.5%	8人	25.0%	32人	100.0%
ジャパンケア世田谷	16人	64.0%	2人	8.0%	7人	28.0%	25人	100.0%
天正寺サポートセンター	10人	47.6%	5人	23.8%	6人	28.6%	21人	100.0%
潤生園ホームヘルプサービス	6人	27.3%	3人	13.6%	13人	59.1%	22人	100.0%
24時間訪問介護事業所つばさ	7人	41.2%	2人	11.8%	8人	47.1%	17人	100.0%
合計	51人	43.6%	24人	20.5%	42人	35.9%	117人	100.0%

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

③要介護度別・世帯構成別の利用者数

本調査について、利用者の要介護度と世帯構成の関係性を確認するために、要介護度別・世帯構成別の利用者数を見ると、全体としては、要介護 1、要介護 2 では「独居」がそれぞれ 62.5%、72.0%と最も多かった。一方、要介護 3、要介護 4、要介護 5 では、「同居(その他)」がそれぞれ 54.2%、45.0%、45.8%と最も多かった。ただし、要介護度 3～5 であっても、約半数の利用者が、「独居」または「高齢者のみ」の世帯であった。

図表10 要介護度別・世帯構成別の利用者数



要介護度別・世帯構成別の利用者数を事業所別に見た場合、「定期巡回ゆい港北」「ジャパンケア世田谷」「天正寺サポートセンター」では、要介護 3～5 の利用者で「独居」「高齢者のみ」の利用者が多い一方、「潤生園ホームヘルプサービス」「24 時間訪問介護事業所つばさ」では、要介護 3～5 の利用者で「同居(その他)」の利用者が多い傾向にあった。また、要介護 1～2 の利用者は、いずれの事業所についても、「独居」「高齢者のみ」の世帯が多い傾向にあった。

上記から、要介護 1～2 の利用者は、事業所の違いに関わらず「独居」「高齢者のみ」が多い一方、要介護 3～5 の利用者は、「独居」「高齢者のみ」または「同居(その他)」のいずれが多いかについて、事業所の方針や地域性による違いが出ることが示された。これらは、「独居」「高齢者のみ」世帯が多いか、「同居(その他)」世帯が多いかという地域性によるものであることが考えられた。

図表11 事業所別・要介護度別・世帯構成別の利用者数(人数)

	要介護度																	
	要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5			合計		
	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)
定期巡回ゆい港北	4人	3人	0人	3人	2人	0人	1人	1人	5人	1人	2人	1人	3人	4人	2人	12人	12人	8人
ジャパンケア世田谷	5人	0人	0人	2人	0人	1人	5人	0人	2人	2人	1人	2人	2人	1人	2人	16人	2人	7人
天正寺サポートセンター	1人	0人	0人	7人	0人	0人	2人	1人	1人	0人	1人	3人	0人	3人	2人	10人	5人	6人
潤生園ホームヘルプサービス	3人	0人	3人	3人	1人	3人	0人	0人	5人	0人	2人	1人	0人	0人	1人	6人	3人	13人
24時間訪問介護事業所つばさ	2人	1人	2人	3人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	0人	4人	7人	2人	8人
合計	15人	4人	5人	18人	3人	4人	9人	2人	13人	4人	7人	9人	5人	8人	11人	51人	24人	42人

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

図表12 事業所別・要介護度別・世帯構成別の利用者数(割合)

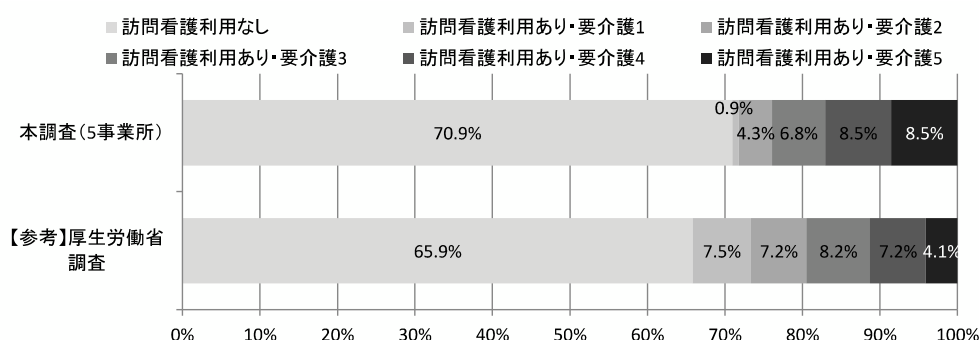
	要介護度																	
	要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5			合計		
	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)	独居	高齢者のみ	同居(その他)
定期巡回ゆい港北	57.1%	42.9%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%	25.0%	50.0%	25.0%	33.3%	44.4%	22.2%	37.5%	37.5%	25.0%
ジャパンケア世田谷	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	71.4%	0.0%	28.6%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	64.0%	8.0%	28.0%
天正寺サポートセンター	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	60.0%	40.0%	47.6%	23.8%	28.6%
潤生園ホームヘルプサービス	50.0%	0.0%	50.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	27.3%	13.6%	59.1%
24時間訪問介護事業所つばさ	40.0%	20.0%	40.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	41.2%	11.8%	47.1%
合計	62.5%	16.7%	20.8%	72.0%	12.0%	16.0%	37.5%	8.3%	54.2%	20.0%	35.0%	45.0%	20.8%	33.3%	45.8%	43.6%	20.5%	35.9%

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

④訪問看護の利用状況

本調査における訪問看護利用者割合は、「訪問看護利用なし」が 70.9%である一方、「訪問看護利用あり・要介護4」「訪問看護利用あり・要介護5」でそれぞれ 8.5%であった。参考として、厚生労働省調査と比較した場合、本調査で対象とした事業所の訪問看護の利用状況は、おおむね厚生労働省調査と同様の傾向であった。

図表13 訪問看護の利用状況



※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

本調査について、訪問看護利用者割合を事業所別に見た場合、「訪問看護利用なし」が 43.8%～100.0%の幅があり、事業所による違いが見られた。「定期巡回ゆい港北」「ジャパンケア世田谷」では、訪問看護の利用者が多い傾向にあった。

ヒアリング調査からは、この 2 事業所について病院退院時の依頼が最も多いとの結果があり、医療ニーズの高い利用者を比較的多く受け入れていることが考えられた。

図表14 事業所別・訪問看護の利用状況(人数)

	訪問看護利用なし	訪問看護利用あり				
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
定期巡回ゆい港北	14人	1人	5人	2人	3人	7人
ジャパンケア世田谷	12人	0人	0人	5人	5人	3人
天正寺サポートセンター	20人	0人	0人	1人	0人	0人
潤生園ホームヘルプサービス	20人	0人	0人	0人	2人	0人
24時間訪問介護事業所つばさ	17人	0人	0人	0人	0人	0人

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

図表15 事業所別・訪問看護の利用状況(割合)

	訪問看護利用なし	訪問看護利用あり				
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
定期巡回ゆい港北	43.8%	3.1%	15.6%	6.3%	9.4%	21.9%
ジャパンケア世田谷	48.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	12.0%
天正寺サポートセンター	95.2%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
潤生園ホームヘルプサービス	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
24時間訪問介護事業所つばさ	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

(2) 訪問回数の状況

①利用者1人1日あたりの平均定期訪問回数

本調査における利用者1人1日あたりの定期訪問回数は、平均2.3回であった。参考として、厚生労働省調査では平均3.0回となっており、本調査で対象とした事業所のほうが、利用者1人1日あたりの定期訪問回数が少ない傾向にあった。

図表16 利用者1人1日あたりの平均定期訪問回数

	平均訪問回数
本調査(5事業所)	2.3回
【参考】厚生労働省調査	3.0回

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

図表17 事業所別 利用者1人1日あたりの平均定期訪問回数

	平均訪問回数
定期巡回ゆい港北	1.8回
ジャパンケア世田谷	2.2回
天正寺サポートセンター	2.8回
潤生園ホームヘルプサービス	2.4回
24時間訪問介護事業所つばさ	2.3回

※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

②事業所全体での1日あたりの随時コール数と随時訪問割合

本調査における、事業所全体での1日あたりの随時コール件数は平均4.6回、随時コールに対する訪問割合は平均45.2%であった。参考として、厚生労働省調査では、事業所全体での1日あたりの随時コール件数は平均4.1回、随時コールに対する訪問割合は平均60.5%であった。本調査で対象とした事業所のほうが、事業全体での平均随時コール件数が若干多い傾向がある一方、随時コールに対する平均訪問割合は低い傾向にあった。

図表18 事業所全体での1日あたりの随時コール件数・随時コールに対する訪問割合

	事業所全体での 平均随時コール件数	随時コールに対する 平均訪問割合
5事業所	4.6回	45.2%
【参考】厚生労働省調査	4.1回	60.5%

本調査について、事業所全体での1日あたりの随時コール件数を事業所別に見た場合、平均0.7回～7.9回の幅があった。また、随時コールに対する訪問割合を事業所別に見た場合、平均7.0%～98.9%の幅があった。「定期巡回ゆい港北」「ジャパンケア世田谷」では、事業所全体での平均随時コール件数は比較的多い傾向にある一方、随時コールに対する平均訪問割合は低い傾向にあった。また、「天正寺サポートセンター」「潤生園ホームヘルプサービス」「24時間訪問介護事業所つばさ」では、事業所全体での平均随時コール件数は比較的少ない傾向にある一方、随時コールに対する平均訪問割合は高い傾向にあった。

随時コールに対する平均訪問割合の違いについては、例えば「24時間訪問介護事業所つばさ」では、「コールが鳴ったら必ず訪問する」という事業所の方針を立てており、こうした事業所の方針による違いもあるが、随時コールを頻繁に使う利用者(随時訪問員が到着するまで随時コールを鳴らし続ける等)の有無によるところも多いと考えられる。

図表19 事業所別 事業所全体での1日あたりの随時コール件数・随時コールに対する訪問割合

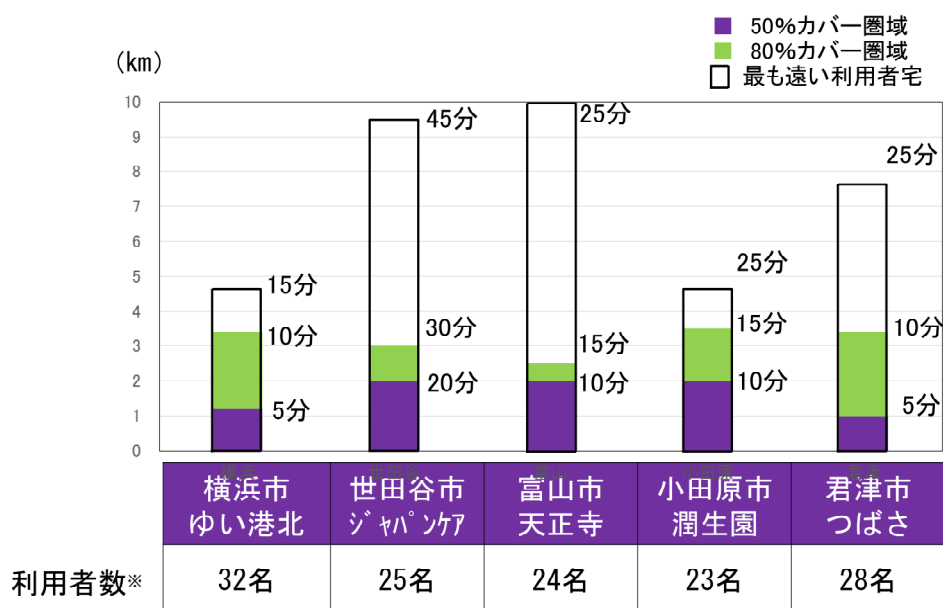
	事業所全体での 平均随時コール件数	随時コールに対する 平均訪問割合
定期巡回ゆい港北	5.7回	21.0%
ジャパンケア世田谷	7.9回	7.0%
天正寺サポートセンター	3.5回	90.1%
潤生園ホームヘルプサービス	0.7回	67.0%
24時間訪問介護事業所つばさ	5.0回	98.9%

(3) サービス圏域の状況

本調査について、事業所ごとにサービス圏域と利用者数の関係を見てみると、いずれの事業所においても、半径 2km 以内で全利用者の 50%がカバーされていることが分かる。一方で、最も遠い利用者宅までの距離については、世田谷区の「ジャパンケア世田谷」や富山市の「天正寺サポートセンター」など一部では 10km 近くとなっている事業所もあり、事業所による違いが見られる。ただし、同じ 10km であっても、訪問時間で見れば世田谷区では 45 分かかっている一方で、富山市では 25 分にとどまっていることを踏まえれば、地域の道路状況や混雑状況など地域特性が関係しているものと考えられる。

このため、サービス圏域を考える場合、利用者宅までの距離だけではなく、移動に要する時間も考慮する必要があると考えられる。

図表20 サービス圏域の状況



※サービス付き高齢者向け住宅の入居者を除く

(4) 事業の複合化の状況

本調査について、他事業との複合化の状況を見てみると、「訪問介護事業所」「夜間対応型訪問介護事業所」については5事業所全てで一体的提供を行っていた。

複数の事業を一体的に提供することによって、利用者の密集度を高めるとともに、職員の稼働率や訪問効率を高めることで、少ない人員でのサービス提供を行っていると考えられる。

図表21 事業の複合化の状況

	訪問介護	夜間対応型訪問介護	通所介護	居宅介護支援	グループホーム	小規模多機能型居宅介護	短期入所生活介護	特別養護老人ホーム	集合住宅
定期巡回ゆい港北	●	●	●	●					
ジャパンケア世田谷	●	●		●					●
天正寺サポートセンター	●	●	●	●	●	●			
潤生園ホームヘルプサービス	●	●	●				●		
24時間訪問介護事業所つばさ	●	●					●	●	

3. まとめ

以上見てきたとおり、定期巡回・随時対応サービスの現状としては、徐々に普及が進んではいるものの十分ではなく、さらなる普及に向けた取り組みが必要となる。また、本事業で調査を実施した先進的取組を実施している5事業所の事業運営のデータから把握できることをまとめると、以下の通りである。

まず、本調査における定期巡回・随時対応サービスの利用者の特性は、平成24年10月時点の厚生労働省調査データと比較した場合、要介護度が若干高く、「独居」の割合が少ないが、全体傾向に大きな違いはないと考えられる。サービス提供状況については、厚生労働省調査データと比較した場合、利用者1人1日あたりの定期訪問回数は若干少なく、事業所全体での1日あたりの随時コール件数は若干多いものの、随時コールに対する訪問割合は低い、という傾向が見られた。

本調査で対象とした事業所における利用者全体の傾向としては、要介護1～2では「独居」「高齢者のみ」の世帯が多く、要介護3～5では「同居(その他)」が増えるものの、全体の半数程度は「独居」「高齢者のみ」であった。これらの利用者の傾向について、事業所別に見た場合、要介護3～5の利用者では世帯構成の割合が事業所により様々であった。また、随時コールに対する訪問割合は、事業所による方針の影響も考えられた。さらに、サービス圏域については、利用者の特性と大きな関連はなく、地域特性による影響が考えられた一方、複合化の状況についても、利用者の特性に関わらず、事業所による様々な工夫が行われていた。

以上のように、定期巡回・随時対応サービスの利用者の特性や事業運営に関しては、事業所による個別性が大きく、どの事業所であっても様々な利用者を受け入れ、その利用者の特性に合わせた事業運営の工夫を行っている。このため、全体平均を見るだけではなく、個別事業所の取り組み状況を詳細に見ていくことが、さらなる定期巡回・随時対応サービスの普及と質の向上につながるものと考えられる。

次章では、利用者やサービス提供、事業運営の様々なパターンについて、個別の事業所ごとにその詳細な内容を紹介している。本章で確認した概況に基づき、特に詳細を知りたい事業所の内容について、参照をいただきたい。